

## おひさま保育園 卒園式・進級式

おひさま保育園 園長 藤井泉美

3月28日、第9回卒園式を行いました。  
生後4か月から通った子を含む、個性豊かな14名を次のステップとなる幼稚園・保育園へ送り出しました。「給食が楽しかった」「消防士になりたい」「アイドルになりたい」と元気に答える姿に、大きな成長を感じました。新しい園でも、自分らしく挑戦し続けてくださいね。おひさま保育園は、ずっとみんなを応援しています。

また、4月1日には進級式を行いました。新しいクラスと先生にドキドキしながらも、元気いっぱいの子どもたち。今年度も明るくスタートです！



## 第44回 ふくやまマラソン



辰川会グループの部活動「共走会」から6人が出場しました。

## 理念の書



福山市の書家・池尻秀香先生にグループ理念を揮毫いただきました。

**赤ちゃんが誕生しました★**

こんにちは赤ちゃん

事業本部  
甲斐さん  
2026年1月  
第3子(女)

**第3回 さんよう健康フェスティバル開催**

**5月30日(土) 14:00~16:30**

**会場：山陽病院 参加費無料**

軽食も  
あります

体力測定、健康チェックなど、健康づくりや病院に興味を持っていただくためのイベントです。  
皆さまのご参加お待ちしております！

## 外部発表

- 第31回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 11/22・23 虎ノ門ヒルズフォーラム  
・当院の血液透析患者が腹膜透析へ移行した1例～介護施設で初めてPD患者受け入れの試み～(ポスター発表) 山陽腎クリニック 看護師長 松岡幸則
- 第31回 透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会学術集会・総会 3/7 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター  
・当院におけるNSE Apertaバルーン(NSE AB)の使用実績(口演発表) 山陽病院 医局 外科 橋本慎二
- ・血栓除去の工夫(口演発表) 山陽病院 医局 外科部長 毛利教生

**辰川会グループ**

【医療法人辰川会】  
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科  
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel.(084) 923-1133(代) Fax.(084) 923-1168  
山陽腎クリニック 人工透析内科/人工透析内科  
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel.(084) 928-5500(代) Fax.(084) 928-5535  
山陽ぬまくま腎クリニック 透析内科/透析内科/外科/内科  
〒720-0311 福山市志保町草深2031-1 Tel.(084) 980-0034(代) Fax.(084) 987-3450

【社会福祉法人さんよう】  
特別養護老人ホームくさど  
〒720-0831 福山市野上町5丁目8番24号 Tel.(084) 973-9911(代) Fax.(084) 928-9988  
特別養護老人ホームしんがいの  
〒721-0955 福山市新宮町3丁目19番27号 Tel.(084) 961-9956(代) Fax.(084) 9261-3950  
特別養護老人ホームひかり  
〒720-0831 福山市野上町3丁目6番1号 Tel.(084) 961-3480(代) Fax.(084) 961-3484

# ふれあい

「グループ理念」 ともに歩む、ともに生きる



**145**  
2026.4 発行  
**TAKE FREE**

辰川会 広報誌

## 辰川会グループ最高経営責任者(CEO)新年度ごあいさつ



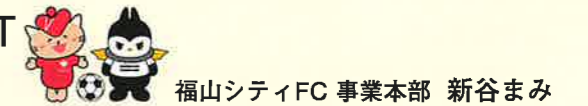
新年度にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。  
少子高齢化の一層の進行や物価高騰、人手不足の深刻化が続くなか、医療・介護を取り巻く環境は大きな転換点を迎えています。さらに今年度は診療報酬改定の影響もあり、従来の延長線上では対応が難しい局面にあることを、日々実感しております。  
また、世界各地で続く紛争も、私たちの心に影を落としています。コロナ禍の混乱の中でも痛感したことで、戦争のような非常事態は、一人ひとりの「命の重み」を見失わせてしまう側面を持ちます。それは巡り巡って、命を支える医療・介護の現場にも中長期的な影響を及ぼすのではないかと、深く危惧しております。  
当法人におきましても、人材確保の難しさやコスト増加への対応

など、経営・現場の双方が課題に直面しています。しかし、こうした変化は、私たち自身のあり方を見直す契機でもあります。業務の効率化や役割分担の再構築、デジタル技術の活用を推進し、限られた資源の中でも持続可能で質の高い医療・介護の提供に努めてまいります。

いかなる環境においても、患者様・利用者様に寄り添う姿勢が揺らぐことはありません。地域に信頼される存在であり続けられるよう、職員一丸となって一歩ずつ着実に歩みを進めてまいります。

本年度も変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 福山シティFC × MY FIRST DENIM PROJECT ～このまちの誇りを子どもたちへ～

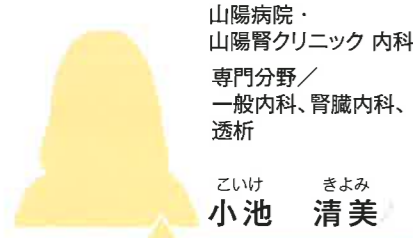


4月9日、福山市内の公立小学校で行われた入学式にあわせ、福山シティFCは新入生約3,400人へ福山デニムのトートバッグを贈呈いたしました。本プロジェクトは、「ふるさとの誇りを次代に繋げていく」ことを目的に、地域企業の皆様とともに進めている取り組みです。日本一のデニム産地である福山の価値を、子どもたちに身近に感じてほしいという想いからスタートしました。教室では、小さな机の上の一つひとつ丁寧に置かれたトートバッグを、嬉しそうに手に取る子どもたちの姿が見られました。生地に触れたり、中に物を入れてみたり、少し大きなバッグを抱きしめる様子に、私たちも温かい気持ちになりました。この取り組みは、地域の企業の皆様のご支援があってこそ実現したものです。たくさんの想いがつながり、こうして子どもたちのもとへ届けることができました。福山シティFCはこれからも、スポーツを通じて地域の魅力や価値を伝え、



このまちとともに歩みながら、ふるさとの誇りを次代に繋げていきます。

## 新任医師紹介



山陽病院・  
山陽腎クリニック 内科  
専門分野/  
一般内科、腎臓内科、  
透析

こいけ きよみ  
小池 清美

4月よりUターンで福山へ戻り、山陽病院や山陽腎クリニックに勤務させていただくことになりました。今までは急性期の大きい病院で診療をしてまいりましたが、これからは気持ちを新たに福山の腎疾患診療にじっくりと取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



山陽病院・  
山陽腎クリニック  
ぬまぐま腎クリニック  
泌尿器科  
専門分野/  
透析、泌尿器  
たかま そういちろう  
高間 総一郎

4月より着任いたしました高間です。島根医大泌尿器科での研修後は隠岐病院を経て島根県安来市で透析、泌尿器科の診療に携わってきました。至らぬこともあるかと思いますが誠心誠意取り組む所存でございますのでよろしくお願いいたします。



山陽病院 内科  
専門分野/  
一般内科、消化器内科、炎症性腸疾患  
あおやま ゆうき  
青山 祐樹

患者さま一人一人に向き合った診療を行ってまいります。よろしくお願いいたします。



山陽病院 泌尿器科  
専門分野/  
泌尿器  
かわぐち こう  
川口 晃

地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

## 辰川会グループ 2026年度 入職式



辰川会グループに、今年もフレッシュな新入職員が加わりました。

4月1日に行われた入職式では、辰川匡史CEOが、「今は不安なことが多いかと思いますが、皆さんのこと

は先輩職員が全力で支えますので安心してください。未経験であることを強みに、素敵な医療介護従事者へと成長してください」と激励の言葉を贈りました。

続いて、新入職員を代表して看護師の中村友音さんが、「地域の皆さまや患者様に信頼していただけるよう、何事も誠実に、一生懸命取り組んでまいります」と力強く決意を述べました。

新入職員は式典後、3日間にわたる新人研修を受講し、社会人としてのマナーやグループの理念・ルールを学び、各部署へと配属されました。新しい仲間を迎え、さらにパワーアップした辰川会グループをこれからもよろしくお願いいたします。

## 2025年度 新入職員 年度末フォローアップ研修

山陽病院 医事課 三谷菜月

2月28日、新入職員として最後の職員研修を受けました。1年間を振り返り、「1年間の私の成長とこれから挑戦したいこと」について発表する中で、この1年間多くの学びと支えがあったと改めて実感しました。

入職当初は分からないことばかりで、不安を抱えながら目の前の業務を覚える毎日でしたが、研修や日々の経験を通して社会人としての基礎や物事の考え方を学び、自分自身と向き合うことができました。多様な視点に触れたことで視野が広がり、自信と成長につながったと感じています。

今回のフォローアップ研修では、同じような悩みを乗り越えた同期の話や聞くことができ、勇気づけられるとともにこれからも頑張ろうという気持ちになり



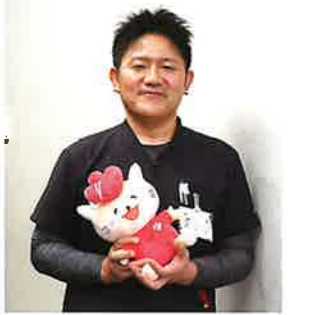
## 日本腹膜透析医学会 連携認定医 取得

山陽病院の橋本慎二医師(外科)が、このたび日本腹膜透析医学会の連携認定医を取得いたしました。

慢性腎不全の治療には、「血液透析」「腹膜透析」「腎移植」の3つの選択肢があります。当院では、患者様とご家族が納得して最善の道を選べるよう、それぞれの特徴を丁寧にご説明しています。

辰川会グループでは近年、特に腹膜透析の普及に力を入れています。腹膜透析は、ご自宅で就寝中などに行うことができ、通院は月1回程度で済みます。時間的な制約が少なく、生活スタイルを維持しやすい点や、

体への負担が比較的軽い点が特徴です。橋本医師は「より多くの方にこの選択肢を知っていただきたい」と、普及と研鑽に努めています。また、生命予後の良い腎移植についても、ドナー登録の重要性を含めた啓発活動を続けています。最適な治療をともに見つけるパートナーとして、お気軽にご相談ください。



ビジネス情報4月10日号掲載

## 腎臓病教室を開催～世界腎臓デーにちなんで～

事業本部 宮澤千咲



3月28日、山陽病院1階ロビーにて腎臓病教室を開催しました。3月の第2木曜日は世界腎臓デーということもあり、今回は普段の教室よりもさらに内容を充実させ、多くの皆さまにご参加いただきました。

当日は、食事のコツに関する講義をはじめ、塩分摂取量の測定、正しい血圧測定の指導、お薬相談、椅子に座ってできる健康体操など、盛りだくさんのプログラムを通して、腎臓病の予防を呼びかけました。今回の教室は、腎臓病の基礎知識や予防の大切さを、より深く知っていただく機会となりました。次回は6月に開催を予定しております。詳細は改めてお知らせいたします。

## 医療DX、山陽病院の注目度上昇中!!

事業本部 システムエンジニア 吉村彪真

山陽病院では現在、生成AIやスマートフォン等のICT活用による業務革新をすすめています。

2月には広島県庁様と江田島市の「しまの病院おたに」様、3月には東広島市の「井野口病院」様が、当院の医療DXの運用を視察にいられました。

県内でもいち早く導入した「ユビー生成AI」は様々な場面で活用されており、2025年の広島県病院学会での優秀賞受賞や国内最大級のプレスリリース配信サイト「PR TIMES」への掲載など、山陽病院の取り組みは

県内外から大きな注目をいただいています。

視察の受け入れは、私たちにとっても運用の振り返りや新たな気づきを得る貴重な学びの場となりました。活用の伸び代は大きく、AIを活用した業務改善にはまだまだ大きな可能性があります。深刻な人手不足が続く医療・介護業界において、テクノロジーへの「タスクシフト」をさらに進め、患者様、利用者様と向き合う時間を創出します。「ともに歩む、ともに生きる」医療・福祉を目指して、これからも一歩ずつ進化を続けてまいります。

